

福島県の生いたち

地質時代		年代 (百万年)	地表のできごと		生物		
新紀	第四紀	沖積世	島弧変動	低地形成 段丘の発達	沖積低地・扇状地形成 磐梯・安達太良・吾妻・那須火山の活動がつづく	アカマツ、コナラ、ミスナラ、フナ 淡水性貝類	
				洪積世	丘陵・山地の形成	段丘の形成 猫囃・磐梯・安達太良・吾妻・那須火山の活動	ミスカシワ、カラマツカンバ、アオモリトドマツ、ハンノキ、ハシバミ ゾウ類(ナウマン象)
	第三紀	鮮新世	グリーンタフ変動	内海・湖底の時代	白河・猪苗代湖の南部、会津盆地南部の山地一帯に石英安山岩の噴出 奥羽山脈は次第に高さを増す	袋原フローラ 小柳津フローラ (かつ葉樹、針葉樹)	
				中新世	海退が始まる 進の極極大	陸地化し始める 海底火山活動→金属鉱床の形成 グリーン・タフ 湖海堆積層 安山岩類の噴出 阿武隈山地北部に玄武岩の噴出 礫層破砕帯の活動 双葉断層の形成(浜通り) 白河-盛岡構造線の形成	西羽賀フローラ 天王寺フローラ(かつ葉樹) 耶麻フォーン フウ、ヤマモモ、カン ○レヒドシクナ、カキ、タマキガイ、ホ タテガイ、オオヒタチオヒ メタセコイヤ、カンバシテ、ニレ
	古第三紀	漸新世	四万十地向斜 (佐川造山運動) (日高造山運動)	海退が始まる	石炭層の形成(いわき) 入江となる(いわき)	いわき地域 二枚貝のバシリデア、マコマ、チマリテラ、ヨルデア、マイヤ	
				常盤地方の海進	始新世、晩新世の地層は本県には分布していない		
				始新世			
	中生代	白亜紀	136	大規模な花こう岩の貫入	阿武隈・八溝・飯豊・常磐山地に花こう岩の貫入	イノセラムス貝、アンモナイト 魚竜	
					ジュラ紀	190	大陸時代
		古生代	二疊紀	225	本州造山運動 本州地向斜 (秩父古生層)	海庄時代	福島県全域が海底 飯豊・常磐古生層(?) いわき古生層(八重・高倉山) 相馬古生層
石炭紀			345				
デボン紀			395				
先カンブリア紀	シルル紀	440	飛騨大陸時代	?	御在所・竹貫変成岩		
	オルドビス紀	500					
	カンブリア紀	570					